

7 葉脈のようすを観察しよう

用意するもの

樹木の葉、トレーシングペーパー、鉛筆、虫めがね、(水性ボールペン、柔らかいビニルタイプのカード入れ)

やりかた

- 1 樹木の葉の表と裏を観察する。
 - 2 葉脈がよく浮き出ている裏側の上にトレーシングペーパーをのせ、鉛筆(色鉛筆)を横にしてやさしくなぞる。
 - 3 時間があったら、葉をカード入れに入れて、トレーシングペーパーをのせ、上から水性ボールペンでなぞる。まずまわりをかき、中の葉脈は、窓ガラスに付けてすかしてかくと、うまくかける。
- ※1 ウルシやヌルデにふれると、かぶれる場合があるので、採集しないようする。
※2 常緑樹の葉よりも落葉樹の葉のほうが、葉脈がはっきりしているので、きれいにできる。

参考(平成22年6月6日採集、市川市)

- 1 ソメイヨシノ



葉の表



葉の裏



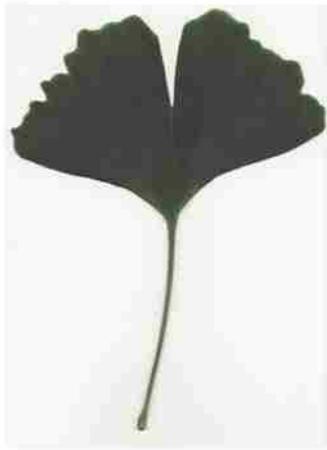
鉛筆でなぞったもの



水性ボールペンでなぞったもの

ソメイヨシノの葉脈は網状脈(もうじょうみやく)といって、網の目のように葉のまわりをぐるりと囲む葉脈が見られます。

2 イチョウ



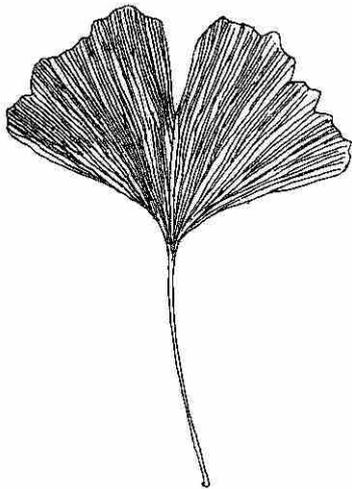
葉の表



葉の裏



鉛筆でなぞったもの



水性ボールペンで
なぞったもの

イチョウの葉脈は、二叉状脈（にさじょうみやく）といって、二股（ふたまた）に分かれています。

葉の付け根をよく観察すると、二つに分かれて、そこからさらに、細かく分かれています。葉の真ん中が大きく二つに分かれている理由がわかります。

3 ケヤキ



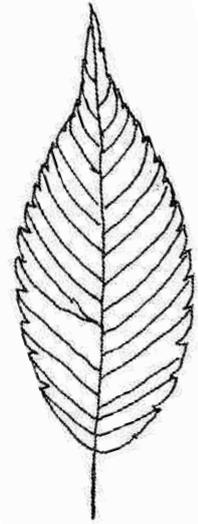
葉の表



葉の裏



鉛筆でなぞったもの



水性ボールペンでなぞったもの

ケヤキの葉脈はソメイヨシノの葉脈によく似ていますが、よく観察すると、葉の先までいっており、葉の端（はし）の突起までいっていることがわかります。

4 エノキ



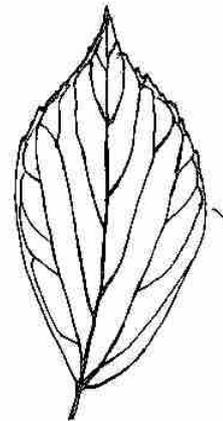
葉の表



葉の裏



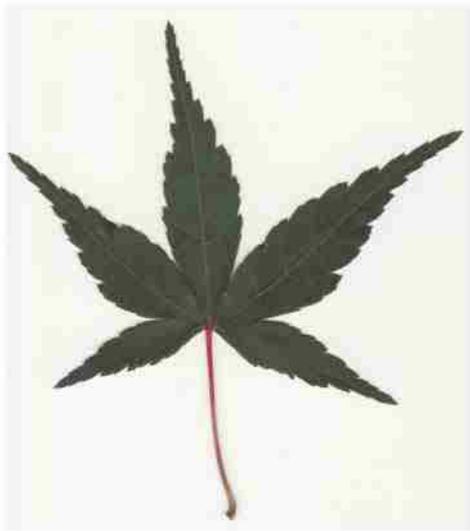
鉛筆でなぞったもの



水性ボールペンでなぞったもの

エノキの葉脈は葉の付け根から3本の葉脈がよく目立ちます。

5 タカオモミジ (イロハカエデ)



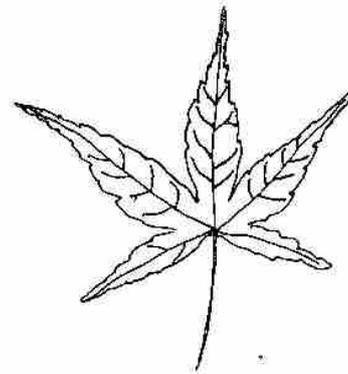
葉の表



葉の裏



鉛筆でなぞったもの



水性ボールペンで
なぞったもの

タカオモミジの葉脈は葉の付け根から5～7本の葉脈が広がっています。

6 スズカケノキ



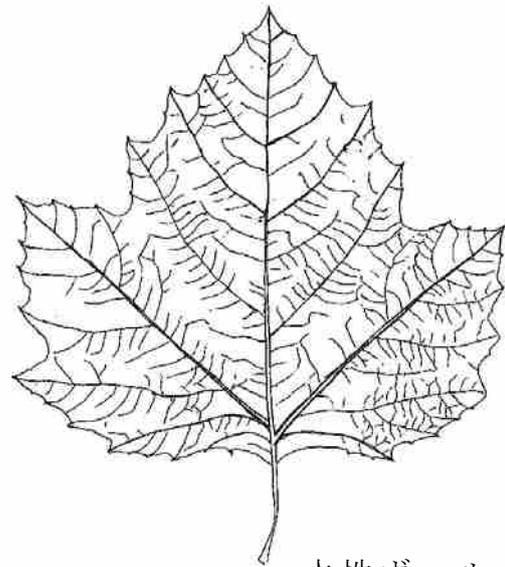
葉の表



葉の裏



鉛筆でなぞったもの



水性ボールペンで
なぞったもの

街路樹や公園の樹としてよく見られる大きな葉の植物です。よく観察すると実に細かい葉脈が広がっていることがわかります。

参考文献)

吉山寛著、石川三枝子画（1993）原寸イラストによる落葉図鑑、文一総合出版